

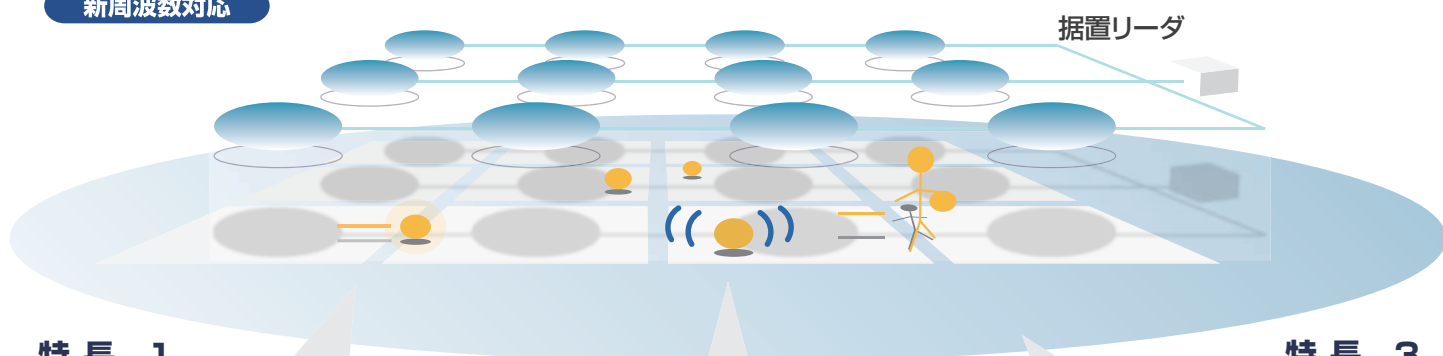
第14回
自動認識システム大賞

入選

新周波数対応

物の移動をリアルタイムにデータ記録 究極の見える化

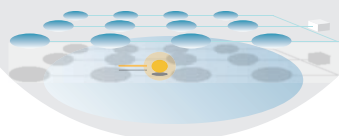
現場（工場や倉庫）の各工程（部屋）に RFID リーダを配置して
自動で物の動きを監視します。



特長 1

自動で リアルタイム追跡

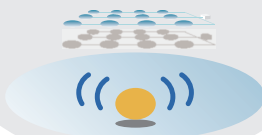
MANICA トレイサーでは、各部屋毎に RFID のアンテナを設置しますので、常に製品が監視され、減ったもの、増えたもの、移動したものをリアルタイムに把握する事が出来ます。



特長 2

イレギュラーな所在を 自動でアラート

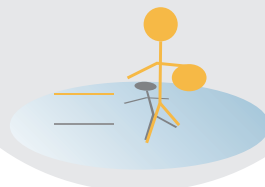
特定のモノの工程順序の間違いや長時間の停滞、人の禁止エリアへの侵入を検知し、アラートを出すことができます。



特長 3

人の記録も自動で

物を“入荷した場合”、“持ち出した場合”、“移動した場合”、その作業を誰がおこなったかを IC カードにより記録できます。



基幹システムのスケジューラー、工程管理システムと連携できるので
リアルな工程進捗が見える化されリアルなスケジュール調整が可能になります。

据置リーダ



新周波数
対応

エイリアンテクノロジー
ALR-9900+JP2
据置型リーダにはエイリアンテクノロジー社の据置型 UHF リーダを使用。
ALR-9900+JP2 は、世界中の企業や行政機関での導入実績もあり、高い信頼性を誇っています。

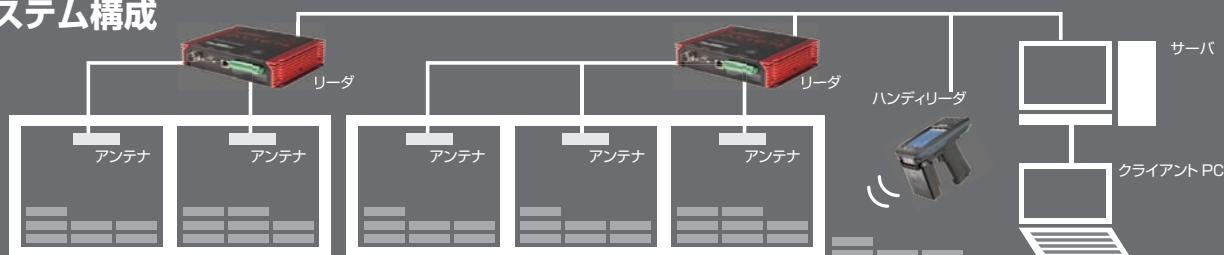
ハンディリーダ



新周波数
対応

ATID
AT880
ハンディリーダは ATID 社の AT880 を使用 Higgs タグとの組み合わせで 3m の読取も可能。出力変更もタッチパネルで簡単に行えるので、物を特定した場合などに出力を弱めて読取をおこなったりも可能です。

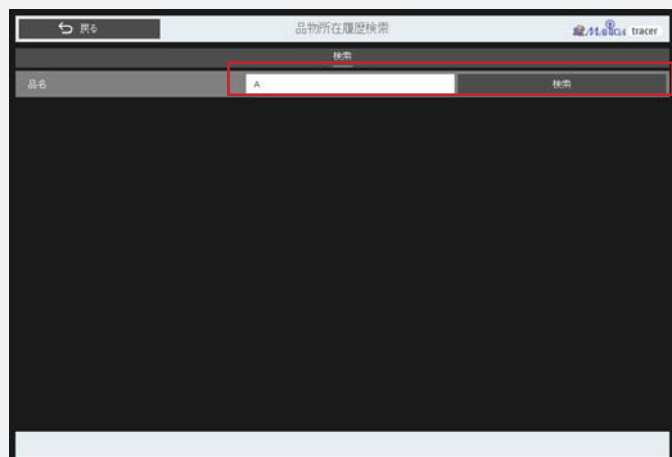
システム構成



クライアント画面

1 検索項目の入力

探したい商品の名前などを入力して検索ボタンをクリック



2 結果の表示

商品の現在の場所と、これまでの移動履歴を表示

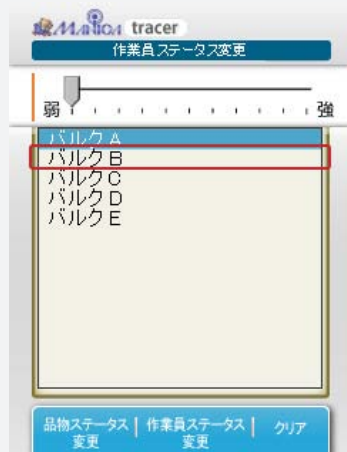


ハンディリーダを利用して商品を探す

ハンディ画面

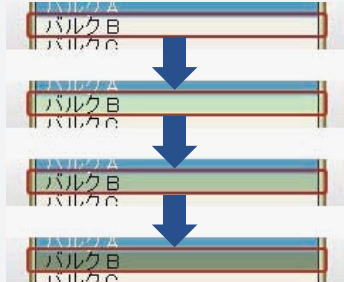
1 探索画面

リーダの電波強度を調整して読取開始

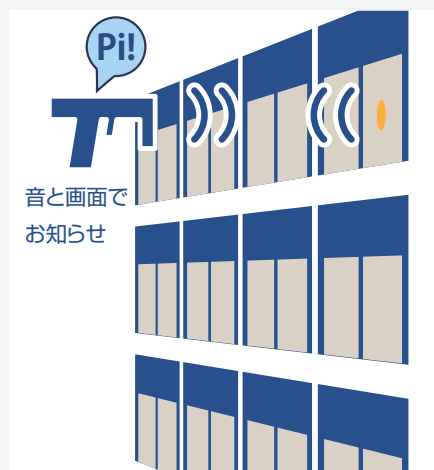


2 探索中

リーダが商品を見つけると音と背景色でお知らせ



返信電波が強くなると色が濃くなります。背景色と音程の変化により対象物が近づいている事を知らせてくれます。おおまかに商品の場所を特定出来た後、電波強度スライダーを弱にして一つづつ確かめていく事で正確に場所を突き止める事が出来ます。



読取精度と使いやすさのハードウェア

ハードウェアスペック

据置リーダ エイリアンテクノロジー ALR-9900+JP2



品名	ALR-9900+JP2
対応 RFID プロトコル	EPC C1G2 ; ISO 18000-6c
リーダプロトコル	Alien Reader Protocol
周波数、チャンネル	4 チャンネル (916.8 ~ 920.4MHz)
RF、出力	最大 30db (1W) ; 4 watts EIRP
アンテナ端子	4 ポート ; 送 / 受信共用
外部通信ポート	LAN TCP/IP (RJ-45), RS-232 (DB-9 F)
寸法	(長さ) 203 × (幅) 178 × (高さ) 41mm
重量	1.5Kg
動作温度範囲	0℃ ~ +50℃
保護等級	IP53
適合規格	920MHz z 移動体識別無線規格 (LBT なし)
無線局	構内無線局 (免許局)

ハンディリーダ ATID AT880



品名	AT880
CPU	Marvell PXA320 806MHz
OS	Windows CE.NET 5.0
メモリ	256MB RAM/256MB ROM
サイズ	158 (L) × 78 (W) × 28 (H) 本体のみ
送信出力 / 型番	250mW
電源	1W メインバッテリー (リチウムイオン) 3000mAh ガンハンドルバッテリー (リチウムイオン) 4400mAh
重量	約 280g (オプションによる)